

製品名: ETL ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10646**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	ELTD1
別名	ELTD1; ETL; EGF; latrophilin and seven transmembrane domain-containing protein 1; EGF-TM7-latrophilin-related protein; ETL protein
遺伝子 ID	64123.0
SwissProt ID	Q9HBW9
免疫原	抗血清はヒト ELTD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

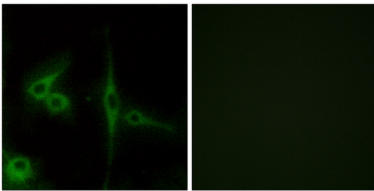
発達段階:成体の心臓で上方制御されています。ドメイン:膜貫通ドメインは切断には不要ですが、二量体形成には必要です。機能:心

臓の発達に関与している可能性があります。、PTM:タンパク質分解により、細胞外アルファサブユニットと7回膜貫通サブユニットの2つのサブユニットに切断されます。、類似性:Gタンパク質共役受容体2ファミリーに属します。LN-TM7サブファミリー。、類似性:1つのGPSドメインを含みます。、類似性:2つのEGF様ドメインを含みます。、サブユニット:7回膜貫通部分(ベータサブユニット)に非共有結合で連結された大きな細胞外領域(アルファサブユニット)からなるヘテロ二量体を形成します。細胞表面で安定した二量体を形成します。、組織特異性:主に平滑筋で発現します。、発達段階:成体の心臓で上方制御されます。、ドメイン:膜貫通ドメインは切断には不要ですが、二量体形成には必要です。、機能:心臓の発達に関与している可能性があります。、PTM:タンパク質分解により、細胞外アルファサブユニットと7回膜貫通サブユニットの2つのサブユニットに切断されます。、類似性:Gタンパク質共役受容体2ファミリーに属します。LN-TM7サブファミリー。、類似性:1つのGPSドメインを含みます。、類似性:2つのEGF様ドメインを含みます。、サブユニット:7回膜貫通部分(ベータサブユニット)に非共有結合で連結された大きな細胞外領域(アルファサブユニット)からなるヘテロ二量体を形成します。細胞表面で安定した二量体を形成する。、組織特異性:主に平滑筋で発現する。、

研究分野

-

画像データ



ELTD1抗体を用いたLOVO細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。